

株式会社アドバンスクリエイト 平成28年9月期第2四半期 業績説明資料

(平成27年10月～平成28年3月)



平成28年5月11日



本誌取扱上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがあります。

従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。

目次

<u>I. 平成28年9月期第2四半期の状況</u>	4
■ 決算概要	5
■ 営業管理データ	9
<u>II. 当社の戦略について</u>	18
■ はじめに	19
■ ビジネスモデル	21
■ マーケティング戦略	24
■ 投資戦略	26
■ 管理体制	27
■ 資本政策	29
■ 総括	30

I . 平成28年9月期第2四半期の状況

平成28年9月期第2四半期 決算ハイライト

連結業績

売上高は、**3,796百万円**となり、前年同期比1百万円の増収

営業利益は、**642百万円**となり、前年同期比110百万円の減益

経常利益は、**627百万円**となり、前年同期比130百万円の減益

四半期純利益は、**376百万円**となり、前年同期比61百万円の減益

配当については、第2四半期・期末ともに1株当たり22円50銭、年間合計1株当たり45円00銭の配当を実施予定です。

平成28年9月期第2四半期 損益計算書（連結）

(単位:百万円)	平成27年9月期 第2四半期	構成比(%)	平成28年9月期 第2四半期	構成比(%)	前期比 増減率 (%)
売上高	3,794	100.0	3,796	100.0	0.0
保険代理店事業	3,482	91.8	3,376	88.9	▲ 3.0
広告代理店事業	188	5.0	430	11.3	128.5
再保険事業	264	7.0	311	8.2	17.7
全社消去	▲ 141	-3.7	▲ 322	-8.5	128.3
売上原価	716	18.9	751	19.8	4.9
売上総利益	3,078	81.1	3,044	80.2	▲ 1.1
営業費用	2,325	61.3	2,402	63.3	3.3
営業利益	752	19.8	642	16.9	▲ 14.6
保険代理店事業	673	17.7	480	12.6	▲ 28.7
広告代理店事業	40	1.1	103	2.7	154.5
再保険事業	37	1.0	57	1.5	53.2
経常利益	757	20.0	627	16.5	▲ 17.2
四半期純利益	438	11.5	376	9.9	▲ 14.1
一株当たり四半期純利益(円)	40.42		34.83		

- 売上の状況は、主要保険商品の代理店手数料率の低下や、マイナス金利等の影響による学資・年金保険等貯蓄性商品の販売停止などにより保険代理店事業においては軟調に推移しました。一方、WEBサイト「保険市場(ほけんいちば)」の媒体価値向上に伴い、広告代理店事業においてメディア関連収入が大幅な増収となり、また、再保険事業が引き続き好調に推移した結果、グループ全体としては前期と同水準となりました。
- 利益面では、保険代理店事業において試験的にマーケティングコストを投下したものの上記売上の状況もあり収益に直結できなかったことなどにより、前年同期比では減益となりました。

平成28年9月期第2四半期 貸借対照表（連結）

(単位:百万円)	平成27年9月期末	平成28年9月期 第2四半期末	増減
流動資産	4,177	3,596	▲ 581
現預金	1,667	1,385	▲ 282
売掛金	1,494	775	▲ 719
未収入金	545	887	341
その他	469	548	78
固定資産	3,181	3,458	277
有形固定資産	572	679	107
無形固定資産	587	724	137
投資その他の資産	2,021	2,054	32
繰延資産	2	0	▲ 1
資産合計	7,361	7,055	▲ 305

(単位:百万円)	平成27年9月期末	平成28年9月期 第2四半期末	増減
流動負債	1,768	1,656	▲ 112
短期有利子負債	358	369	10
その他	1,410	1,287	▲ 122
固定負債	781	785	4
長期有利子負債	403	316	▲ 87
その他	377	469	91
負債合計	2,550	2,442	▲ 108
資本金	2,915	2,915	-
資本剰余金	352	352	-
利益剰余金	1,473	1,602	129
自己株式	▲ 14	▲ 363	▲ 349
その他	83	107	23
純資産合計	4,810	4,613	▲ 197
負債及び純資産合計	7,361	7,055	▲ 305

【資産】

資産合計は、前期末比で305百万円減少しております。

主な減少要因は、売掛金の回収による減少(719百万円)、期末配当及び自己株式の取得並びに法人税等の納付に伴う現預金の減少(282百万円)によるものです。

【負債及び純資産】

負債合計は、前期末比で108百万円減少しております。

主な減少要因は、社債の償還により長期有利子負債が減少(87百万円)したことによるものです。

純資産合計は、前期末比で197百万円減少しております。

これは、当期純利益の計上により増加したものの、期末配当の支払い(247百万円)及び株式給付信託導入等に伴う自己株式の増加(349百万円)により純資産が減少しております。

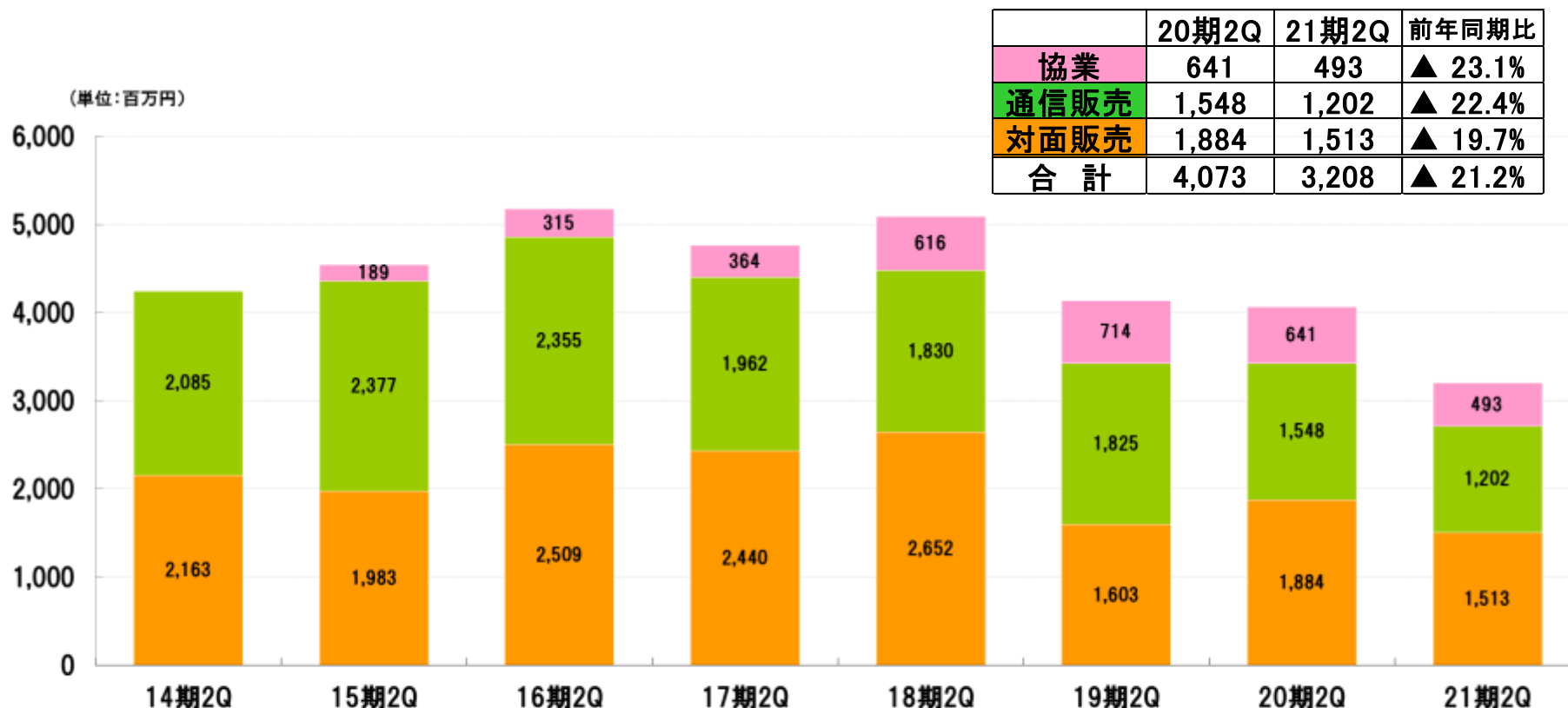
平成28年9月期第2四半期 キャッシュ・フロー計算書（連結）

(単位:百万円)	平成27年9月期 第2四半期	平成28年9月期 第2四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	77	681	603
税金等調整前当期純利益	716	594	▲ 121
減価償却費	180	145	▲ 34
売上債権の増減額	▲ 530	720	1,251
その他	▲ 287	▲ 780	▲ 492
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 240	▲ 177	63
財務活動によるキャッシュ・フロー	253	▲ 786	▲ 1,039
有利子負債の増減額	203	▲ 189	▲ 393
配当金の支払額	▲ 209	▲ 246	▲ 37
その他	258	▲ 349	▲ 608
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 0	▲ 0	0
現金及び現金同等物の増減額	90	▲ 282	▲ 372
現金及び現金同等物の期首残高	514	1,664	
現金及び現金同等物の期末残高	604	1,382	777

営業活動による収入は681百万円(売掛金の減少等)となったものの、投資活動による支出177百万円(無形固定資産の取得等)、及び財務活動による支出786百万円(配当の支払・有利子負債の返済・自己株式の取得)により、現金及び現金同等物は前期末に対し282百万円減少し、1,382百万円となりました。

チャネル別申込ANPの推移

貯蓄性商品の販売減少等により、前年同期比**21.2%減**



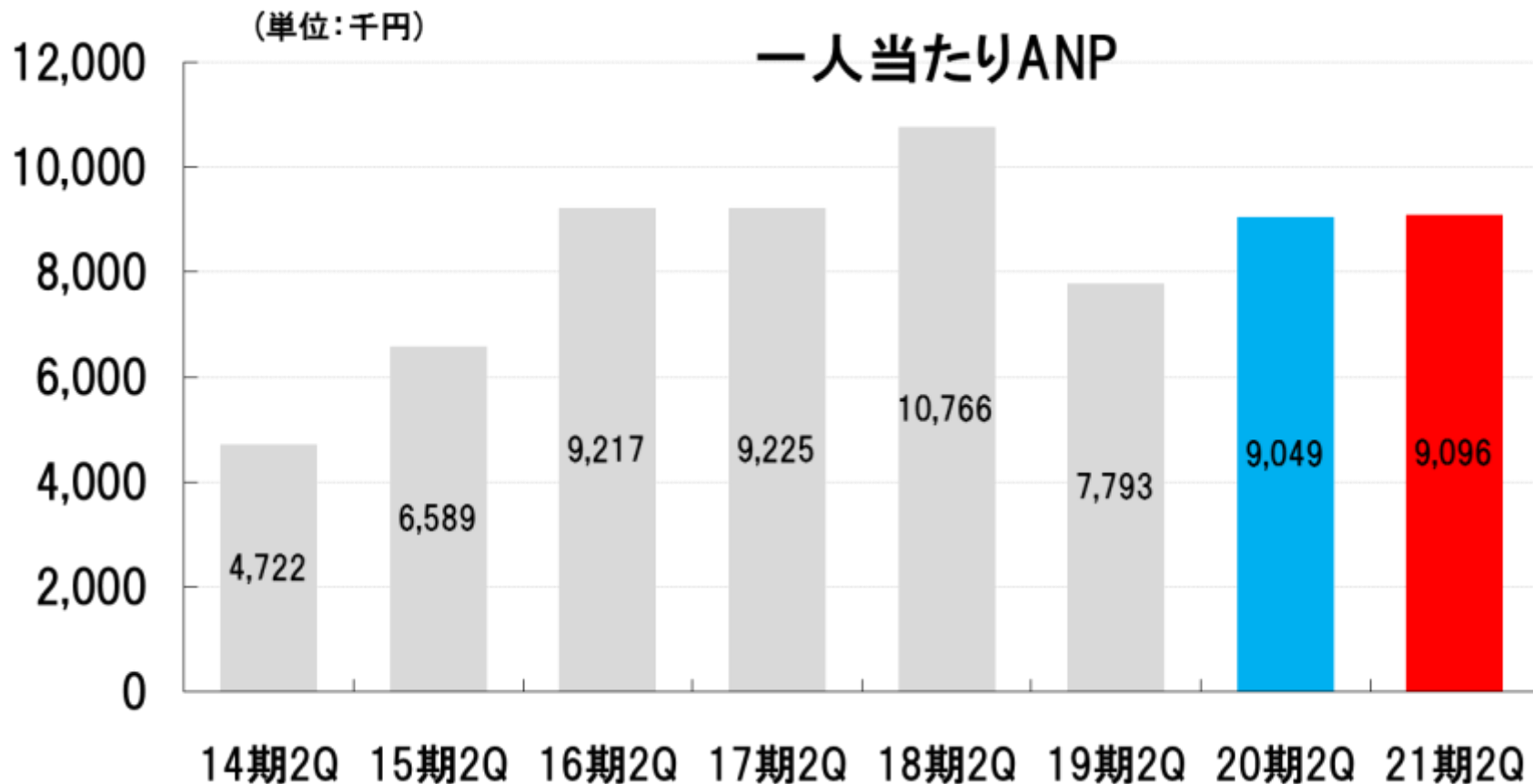
※ANPとは新契約年換算保険料の意味で、月払い保険料5,000円の場合、ANPIは60,000円となります。

※当社グループの収益は、新規申込ANPベースでの収入の他、既存の保有契約ストックから得られる保険代理店手数料収入や、メディア関連収入、再保険事業収入等で構成されております。

※直近四半期については速報値ベースで記載しております。

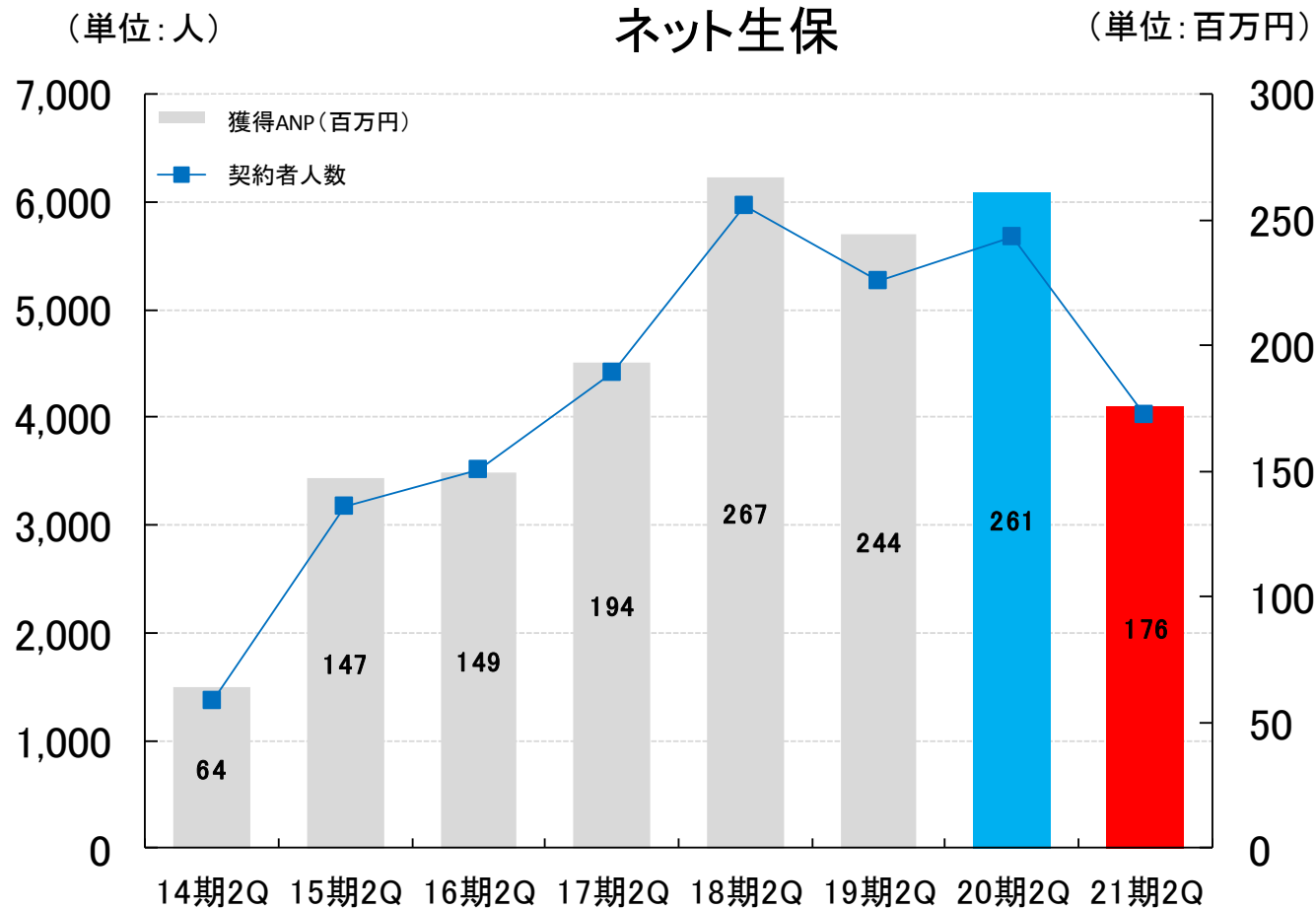
対面一人当たりANPの推移<四半期対比(3ヶ月)>

マイナス金利の影響により貯蓄性商品の販売が伸び悩む中、
一人当たりANPにおいては前年同期と同水準を維持



ネット生保ANPの推移

メディア関連ビジネスに傾注した結果、前年同期比**32.8%減**

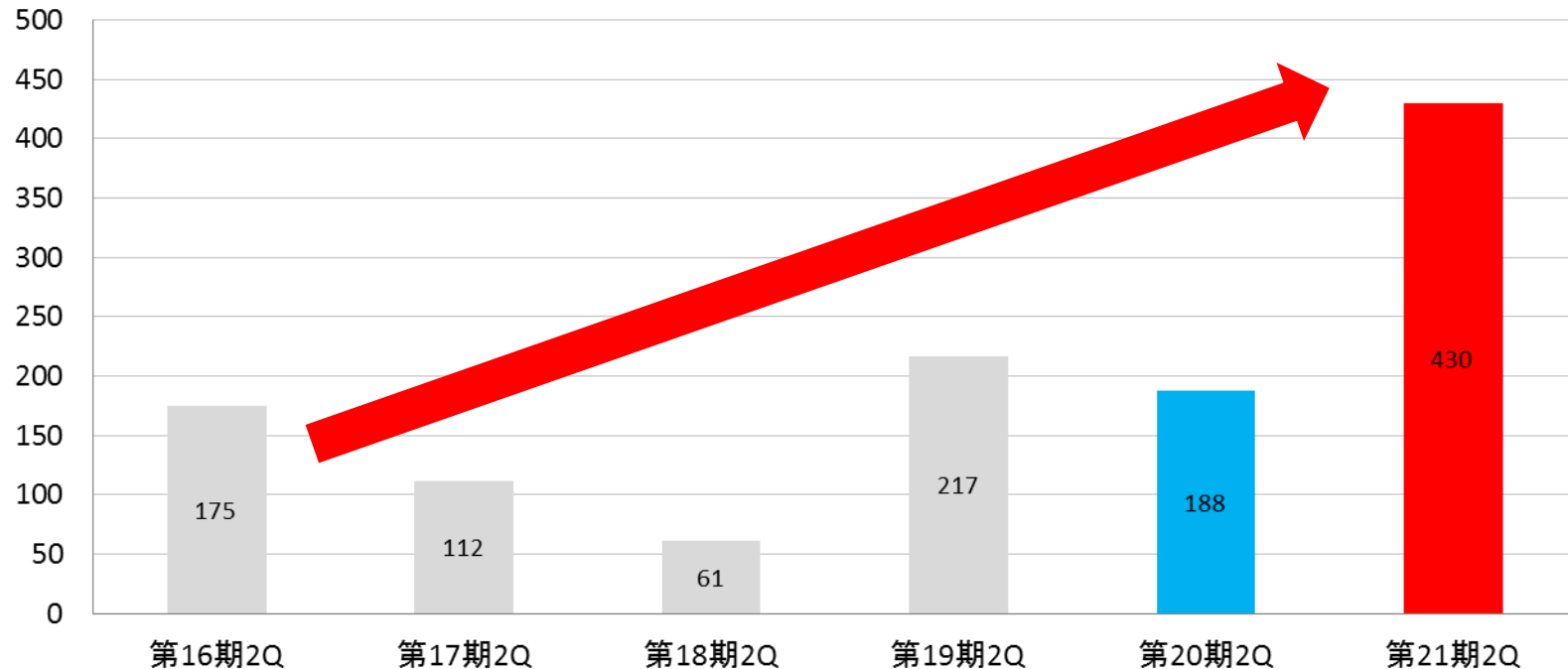


メディア収入推移

WEBサイト「保険市場(ほけんいちば)」の価値向上に伴い
前年同期比**128.5%増**

メディア収入

(単位:百万円)



協業ANPの推移

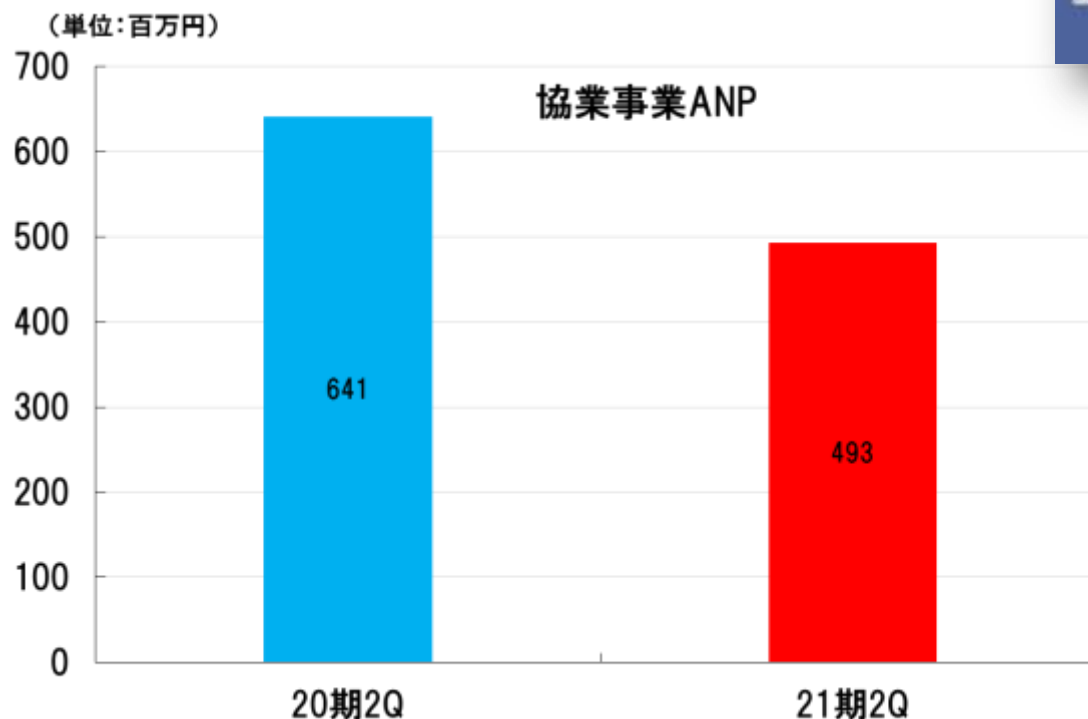
管理体制強化のため提携先の集約化を図り、提携社数は47社減少
 協業においても貯蓄性商品の販売減少が影響し、前年同期比**23.1%減**

■ ショップ・テレマーケティング・訪問 多様な協業チャネルにより全国展開

■ お客様に対し、最適なコンタクトポイントの提供

【提携代理店 147社 提携店舗 310店 提携稼働募集人 約50千人】※平成28年3月31日現在

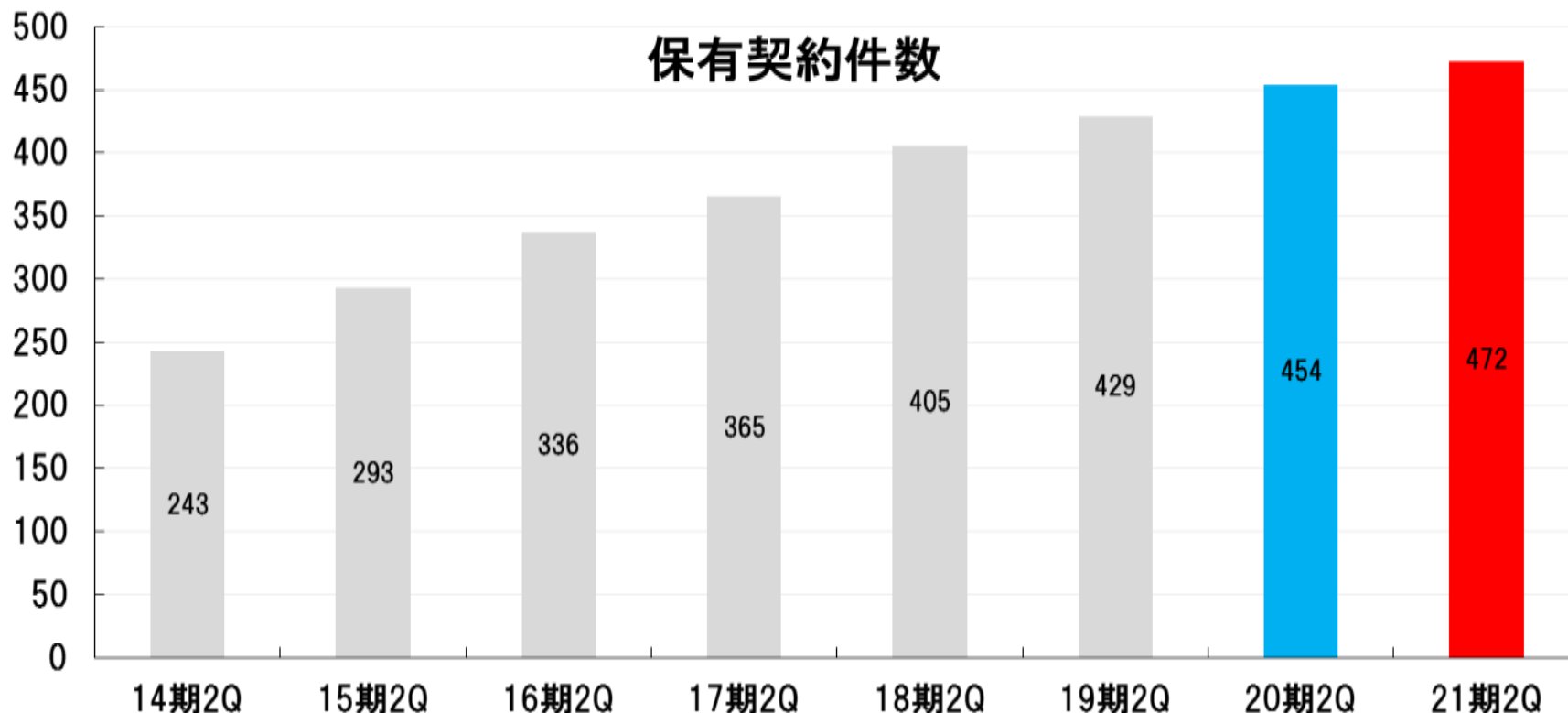
(前第2四半期における提携代理店社数 194社)



保険契約件数の推移

保有契約件数は順調に増加し、前年同期比**4.0%増**

(単位:千件)

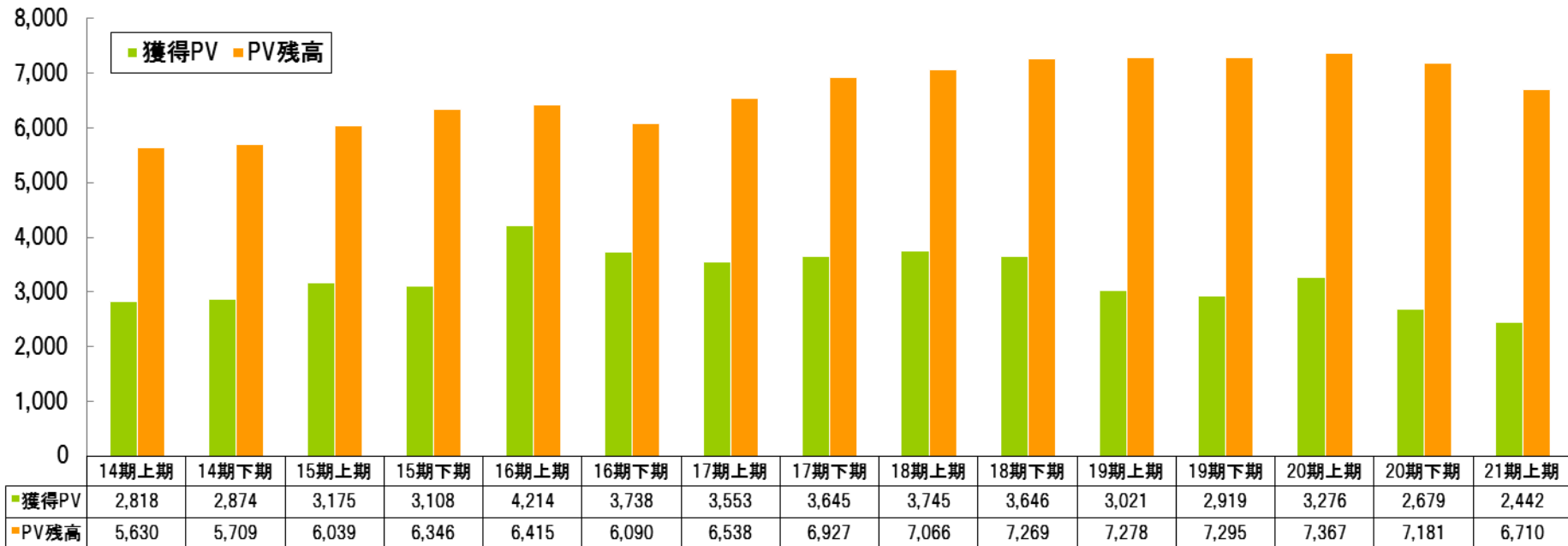


※ 保有契約件数の対象となるものは生命保険・医療保険等継続・更新されるものとし、短期傷害保険分(旅行保険等)については除いております。

PV推移（保険代理店事業収益現在価値）

21期上期の獲得PVは2,442百万円となり、PV残高は6,710百万円となる

(単位:百万円)

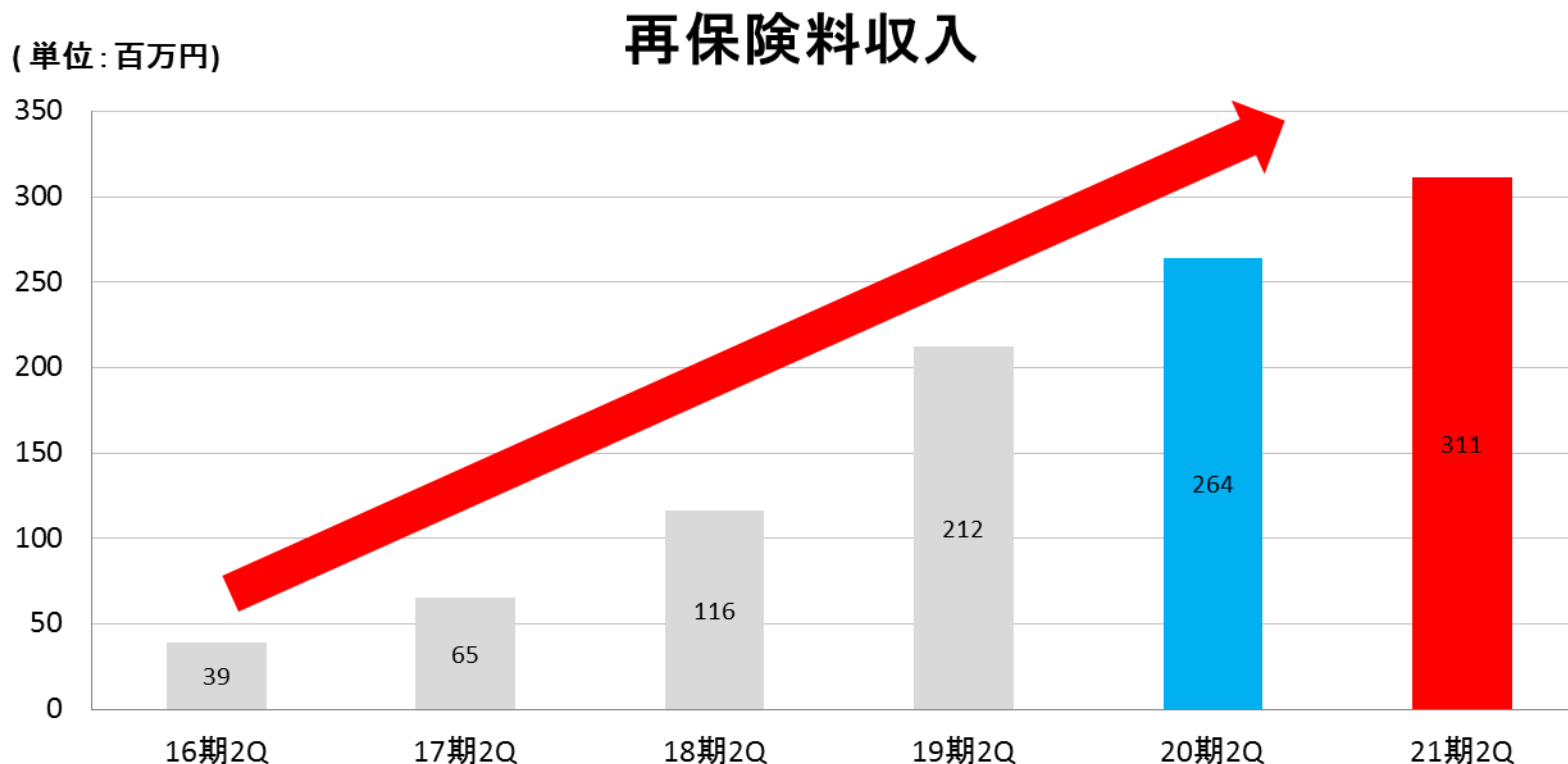


※1 PV(Present Value)とは当該期の新規契約より発生する保険手数料の収入見込額の現在価値を表し、申込ベースの金額から成立率、解約率、還元率を勘案して算出されたシミュレーション数値です。

※2 第18期上期より手数料率及び継続率等を最新の情報に見直しを行う等、算出方法の変更を行っております。当該変更に伴い期間比較を容易にするため、過去の計算結果についても最新の算出方法に基づき再計算しております。

再保険事業収入推移

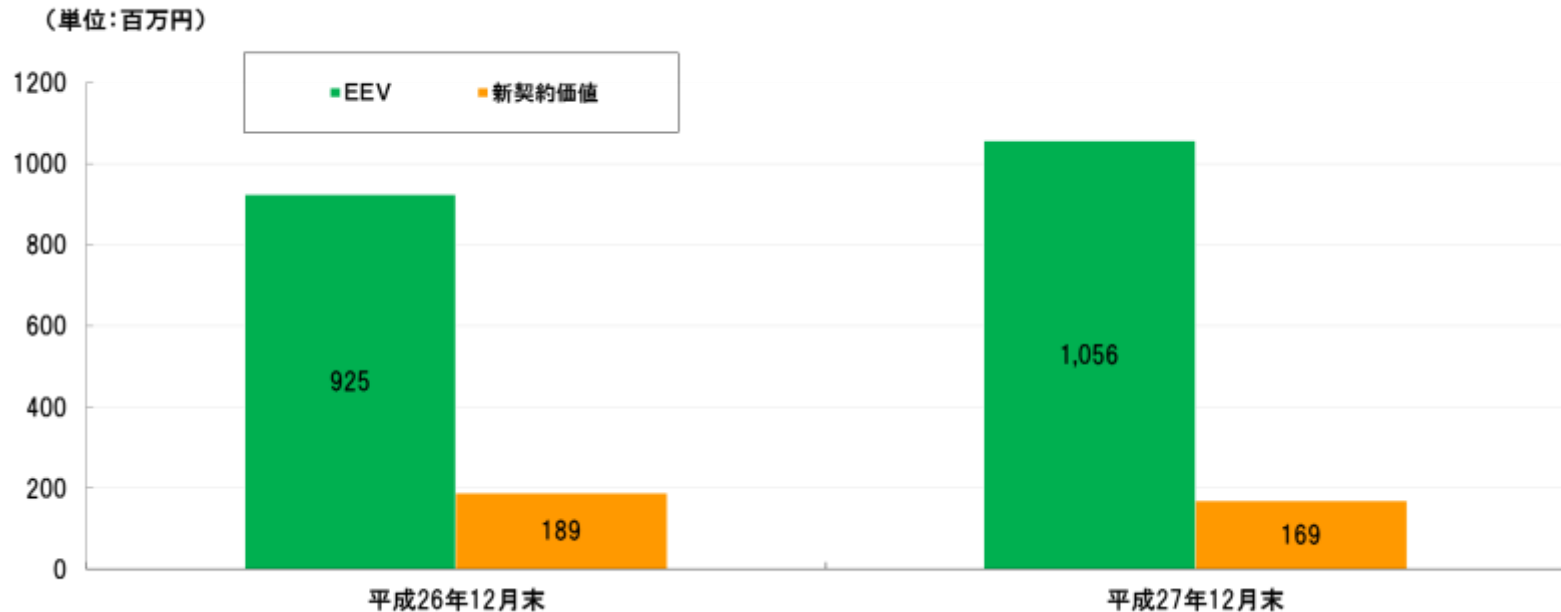
再保険事業収入は引き続き伸張し、前年同期比**17.7%増**



10社(生命保険5社、損害保険2社、少額短期保険3社)の再保険引受

EEV推移（再保険事業収益現在価値）

再保険子会社Advance Create Reinsurance Incorporatedの平成27年12月末現在のEEV(ヨーロッパ・エンベディッド・バリュー)は1,056百万円、当期の新契約価値は169百万円



※1 EV(Embedded Value)とは、潜在する株主配当可能利益の現在価値を示す指標であり、新契約獲得時に将来の利益貢献を認識することにより、財務会計情報を補足する指標となります。当社は生命保険会社で広く採用されているヨーロッパ・エンベディッド・バリュー(EEV)を採用しております。

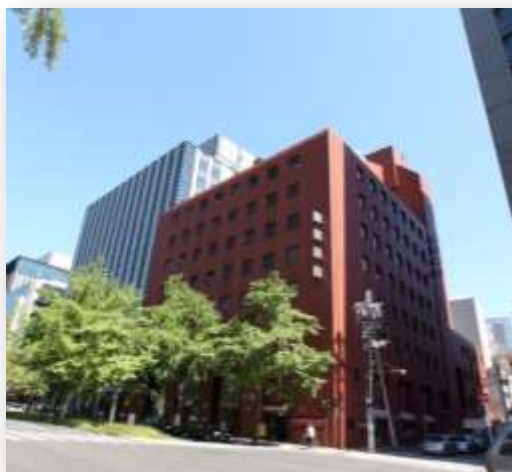
※2 EEVの計算は、専門的知識を有する第三者機関である有限責任監査法人トーマツに検証を依頼し意見書を受領しております。修正純資産、保有契約価値、新契約価値等の用語の意味並びに詳細な計算方法及び有限責任監査法人トーマツによる意見は、平成28年5月11日に開示しております「平成28年3月末におけるアドバンスクリエイトのプレゼント・バリューと平成27年12月末における再保険子会社のヨーロッパ・エンベディッド・バリューの開示について」をご参照ください。

Ⅱ. 当社の戦略について

創立二十周年及び東証市場第二部への市場変更

感謝

おかげさまでアドバンスクリエイトは、2015年10月4日に創立二十周年を迎えるとともに、同10月16日をもちまして東京証券取引所ジャスダック(スタンダード)から、市場第二部へ市場変更いたしました。



当社の保険通販専門代理店としての変遷

ポスティング(1997年)



WEBマーケティング(現在)



保険通販専門代理店という一貫した軸

ロジスティクス



高い認知度



データベース



高い生産性



ダンベル型ビジネスモデル

情報差益と死差益を収益源としたビジネスモデル



※生命保険には、利差益・費差益・死差益の3つの利源があります。そのうち死差益とは、想定した死亡率と実際の死亡率の差によって発生する利益のことを指します。

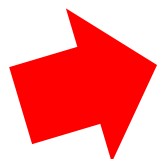
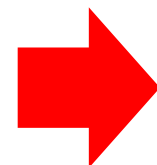
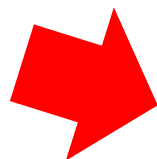
収益のポートフォリオ

保険に関するあらゆる収益機会へのアプローチ



チャネルのポートフォリオ

WEBで集客し、あらゆる販売チャネルでアプローチ



保険市場

HOKEN ICHIBA
The Insurance Market Place



ネット完結

通信販売

対面販売

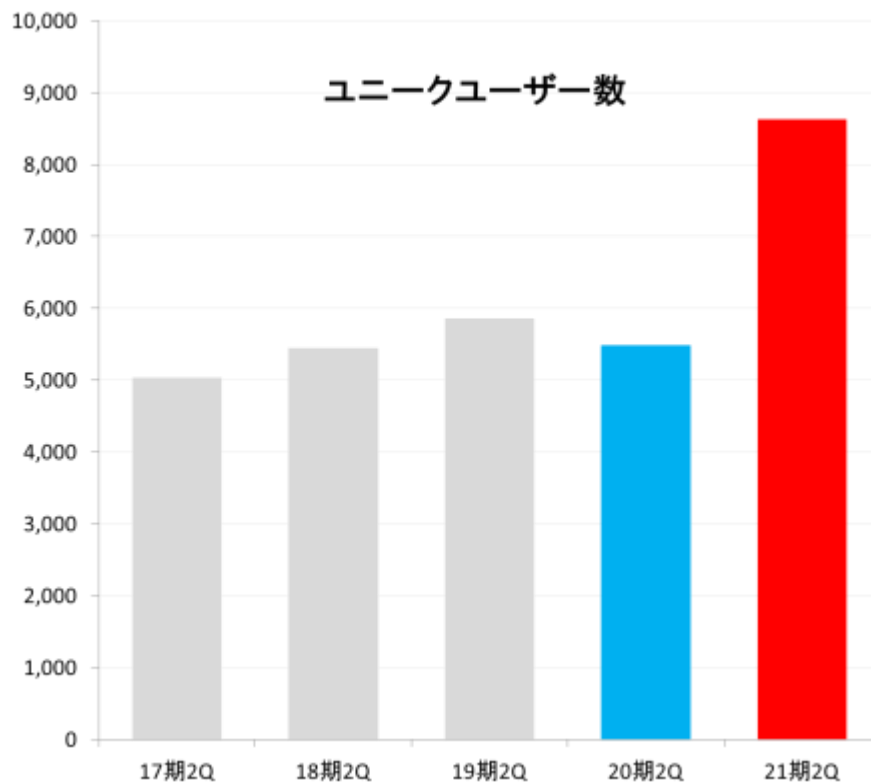
協業

WEBマーケティング

ユニークユーザー数が好調に推移

ターゲットを明確にした積極的なWEBマーケティングを実施
保険選びサイト「保険市場」の更なる価値向上を図る

(単位:千件)



対面販売チャネル

事業再編の発展型



千里中央
サテライトプラザ

千里中央
コンサルティングプラザ

千里中央サテライトプラザの統合
(2015年11月)



梅田阪急コンサルティングプラザ
移転 リニューアルオープン

(2016年1月)

投資戦略

ROI(投資対効果)の極大化を図る

◆IT・システム投資

- システム投資の継続・強化
- 『IT』から『AI』へ
→AIと人材の相乗効果により、
より高い次元でのセキュリティと
環境変化へのフレキシブルな対応



◆人材投資

- 採用活動の強化
- 積極的な人材投資
- 福利厚生制度の充実



管理体制の強化

従前より整備を行ってきた管理体制を強化・継続

◆改正保険業法への対応

平成28年5月29日施行の改正保険業法に対応すべく、システム開発及び各種研修を実施する等、万全の体制へ

◆ガバナンス体制・コンプライアンス体制

平成27年12月の株主総会にて社外取締役を2名体制に増員
各種特設委員会の運営

(ガバナンス委員会、コンプライアンス委員会、社内プロジェクトチーム 等)
コンプライアンス研修の実施・自社法務部門による牽制

◆情報セキュリティ

個人情報保護体制の構築・情報セキュリティ監査の実施
担当部署による有人監査体制の確立

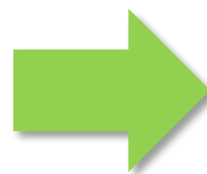
◆提携先代理店の個人情報管理体制の確認

提携先の管理体制水準の向上を目的とした監査の実施

情報セキュリティの強化

情報セキュリティ体制の強化は引き続き最重要課題と認識

情報セキュリティ課の設置



自己牽制

情報セキュリティ監査の実施



外部牽制

社員教育の徹底



倫理観の醸成

株主の状況

【平成28年3月31日現在】 株主数 8,570名

■ 上位10名

株主名	所有株数	持ち株比率(%)
有限会社濱田ホールディングス	2,206,200	20.05
濱田 佳治	759,400	6.90
メットライフ生命保険株式会社	549,600	4.99
濱田 亜季子	472,200	4.29
住友生命保険相互会社	461,900	4.19
富国生命保険相互会社	450,000	4.09
太陽生命保険株式会社	365,500	3.32
AIG富士生命保険株式会社	273,000	2.48
三井住友海上火災保険株式会社	249,400	2.26
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	222,900	2.02

【株主還元】

配当については、第2四半期・期末ともに1株当たり22円50銭、年間合計1株当たり45円00銭の配当を実施予定です。

決算情報ハイライト

(単位: 百万円)

連結	17期 通期実績	18期 通期実績	19期 通期実績	20期 通期実績	21期 通期予想	前期比
売上高	7,054	7,625	7,462	7,274	7,820	7.5%
営業利益	1,087	1,295	1,131	1,153	1,330	15.3%
経常利益	1,052	1,258	1,107	1,143	1,300	13.7%
当期純利益	569	648	655	644	750	16.4%
売上高経常利益率	14.9%	16.5%	14.8%	15.7%	16.6%	
ROE	14.8%	16.2%	15.6%	14.1%	15.4%	

【通期業績予想について】

平成28年5月9日に開示しております「平成28年9月期第2四半期業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」において、平成27年11月11日に発表いたしました公表予想値の修正を行っております。

目標とする経営指標

ROE	20%以上
売上高経常利益率	20%以上
配当性向	50%以上
自己資本比率	80%以上



お問合せ先

管理部

大原 勲

TEL

06-6204-1193(代表)

メールアドレス

acir@advancecreate.co.jp

URL

<https://www.advancecreate.co.jp/>